資料４

整備・運営コンセプトについて

1 はじめに

ごみ広域処理施設の整備を進めるにあたって、事業の基本的な方針となる整備・運営コンセプトを設定します。整備・運営コンセプトの設定では、「ごみ処理広域化基本構想（令和 2 年 5 月）」や組合構成市の上位計画を参考に検討することとします。

2 関連する計画等における方針等整理

（1）ごみ処理広域化基本構想における基本方針

「ごみ処理広域化基本構想（令和2年5月）」における広域処理の基本方針は、表 1 に示すとおりです。

ここでは、ごみ処理広域化における本組合の基本方針を示しています。

表 1　ごみ処理広域化基本構想における基本方針

基本方針	内　　容
（1） 経済性・効率性の確保	経済性・効率性を確保したごみの広域処理体制を構築します。
（2） 安心・安全・安定的な広域処理体制の構築	安心・安全で安定的な広域処理体制の構築を目指し、確立された技術による信頼性の高い広域処理施設の整備を目指します。
（3） 環境負荷の少ない広域処理施設の整備	廃棄物エネルギーの有効利用と、省エネルギー・再生可能エネルギーの導入により環境負荷の少ない広域処理施設の整備を目指します。
（4） 地域社会に貢献できる体制の構築	環境学習機能の付加や周辺地域との連携・協力により、地域社会に貢献できる広域処理施設の整備を目指します。

（資料）ごみ処理広域化基本構想（令和 2 年 5 月）

（2）組合構成市の上位計画

組合構成市（朝霞市、和光市）の上位計画として、「第 5 次朝霞市総合計画後期基本計画（令和 3 年 3 月）」および「第五次和光市総合振興計画基本構想（令和 3 年 3 月）」において、それぞれ設定されている目標を表 2 に示します。

ここで、両市の上位計画から本施設の整備事業に関連するキーワードを抽出します。

表 2　両市の総合計画等における目標

朝霞市	和光市
基本概念 1 ： 安全・安心なまち 基本概念 2 ： 子育てがしやすいまち 基本概念 3 ： つながりのある元気なまち 基本概念 4 ： 自然・環境に恵まれたまち	視点① ： 日々の生活の基盤が整っている 視点② ： それぞれのライフステージを充実させる 視点③ ： 心豊かに、満足度の高い生活が送れる

施設整備・運営に関連するキーワード	○ 災害に強い地域づくり ○ 自然環境・景観の保全 ○ 循環型社会の形成 ○ 住民交流の促進 ○ 担い手の育成

（資料）第 5 次朝霞市総合計画後期基本計画（令和3年3月）

第五次和光市総合振興計画基本構想（令和3年3月）

3 整備・運営コンセプト案

前述した「ごみ処理広域化基本構想（令和2年 5 月）」における基本方針や両市の上位計画を踏まえて、新ごみ広域処理施設の整備・運営のコンセプトについては、以下のとおり設定しました。

コンセプト①　経済性・効率性を確保した施設
コンセプト②　安心かつ安全で安定性に優れ、長期稼働できる施設
コンセプト③　環境負荷が少なく、循環型社会の形成を推進する施設
コンセプト④　地域社会に貢献できる施設
コンセプト⑤　災害に対して強靭性を有する施設

また、各コンセプトに関する内容については、表 3 に示すとおりとします。

表 3　整備・運営のコンセプトと内容

コンセプト	内　　容
コンセプト① 経済性・効率性を確保した施設	○ 建設から維持管理まで含めたトータルでの経済性や効率性に優れた施設
コンセプト② 安心かつ安全で安定性に優れ、長期稼働できる施設	○ 日常的な施設の稼働や維持管理において安心かつ安全性に優れた施設
	○ 耐久性に優れ、安定的に長期稼働が可能な施設
コンセプト③ 環境負荷が少なく、循環型社会の形成を推進する施設	○ 適切な環境保全・公害防止対策により、環境負荷を低減する施設
	○ 処理に伴い発生するエネルギーを最大限に回収し、効率よく活用できる施設
コンセプト④ 地域社会に貢献できる施設	○ 積極的な情報公開のもと、地域住民に信頼され、安心して受入れてもらえる施設
	○ 地域住民が身近に訪れることができ、周辺の景観と調和のとれた施設
	○ 環境問題やエネルギー問題を学習できる施設
コンセプト⑤ 災害に対して強靭性を有する施設	○ 浸水・地震対策等に万全を期し、災害に対して強靭な廃棄物処理システムを確保した施設
	○ 災害廃棄物を円滑かつ適切に処理するための拠点となる施設
	○ 災害時の一時避難場所としても活用できる施設